

## 高齢者の健康増進・介護負担軽減のためのライフデータ利活用 プラットフォームの研究開発と実証検証

～高齢者向け健康増進サービス、負担の少ない介護サービス実現に向けて～  
多岐に亘るメーカーの機器、及びサービスの利用データを  
相互に有効活用するためのデータ連携の仕組みを研究開発

実施者名	シャープ株式会社 KDDI株式会社
概要	介護を未然に防ぐ健康増進サービス、介護サービスの効率化/負担軽減を、生活空間で取得できるデータの活用によって実現する可能性について研究開発を行います。データの活用にあたっては、メーカーや通信手段が異なるさまざまな機器のデータを一箇所に集約し、さらにそれを、さまざまなサービスが実際に利用できるようにするために、データの特性や受け渡しの手法、セキュリティやプライバシー、さらには事業化に向けた契約といった観点での整備が必要になります。実証実験を通じてこれらデータ整備のあるべき姿について検討し、提言を行います。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機器とサービスを直接連携するのではなく、データを一元管理する事業者を通じて利活用をするための、セキュリティ、プライバシーの要件整理</li><li>・ 実際に取り扱うデータと、そのデータがどのような形で取得されたのかを管理する付随情報を含めたデータカタログのあり方の検討</li><li>・ 将来の事業化を見据えて、実際に利用可能な企業間の契約に関するあり方の検討</li></ul>

アクティブシニア向け  
健康増進サービス



介護施設向け  
介護負担軽減サービス

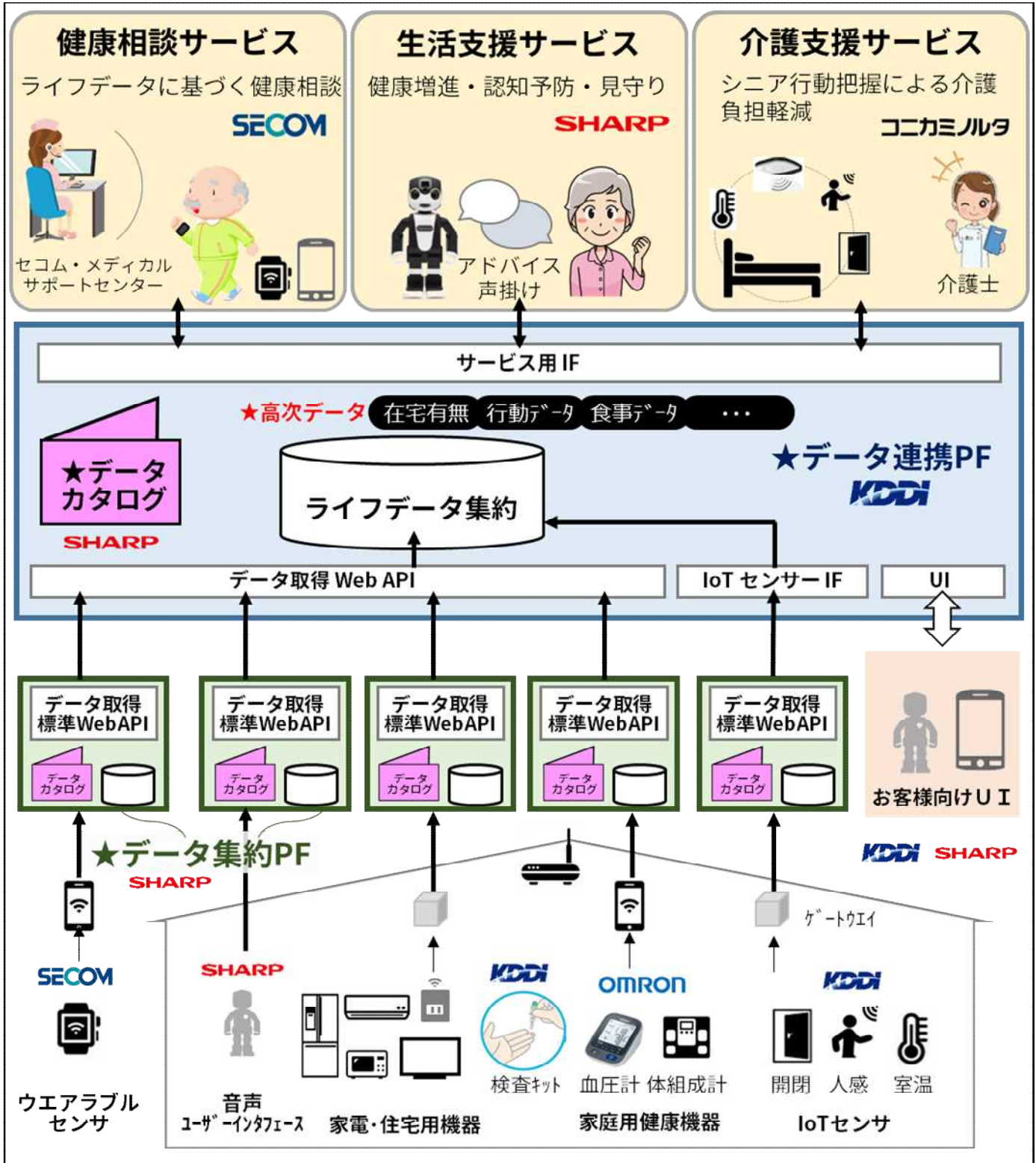


様々なメーカーの機器データ、サービスデータを相互に活用できる環境を構築し  
高齢者向け健康増進サービス、介護サービスの発展・拡大を目指す

## ■プラットフォーム／サービスの概要

家電、健康機器のデータをサービス事業者が活用しやすい形式で提供し、  
高齢者向け新価値サービスの創造を目指す

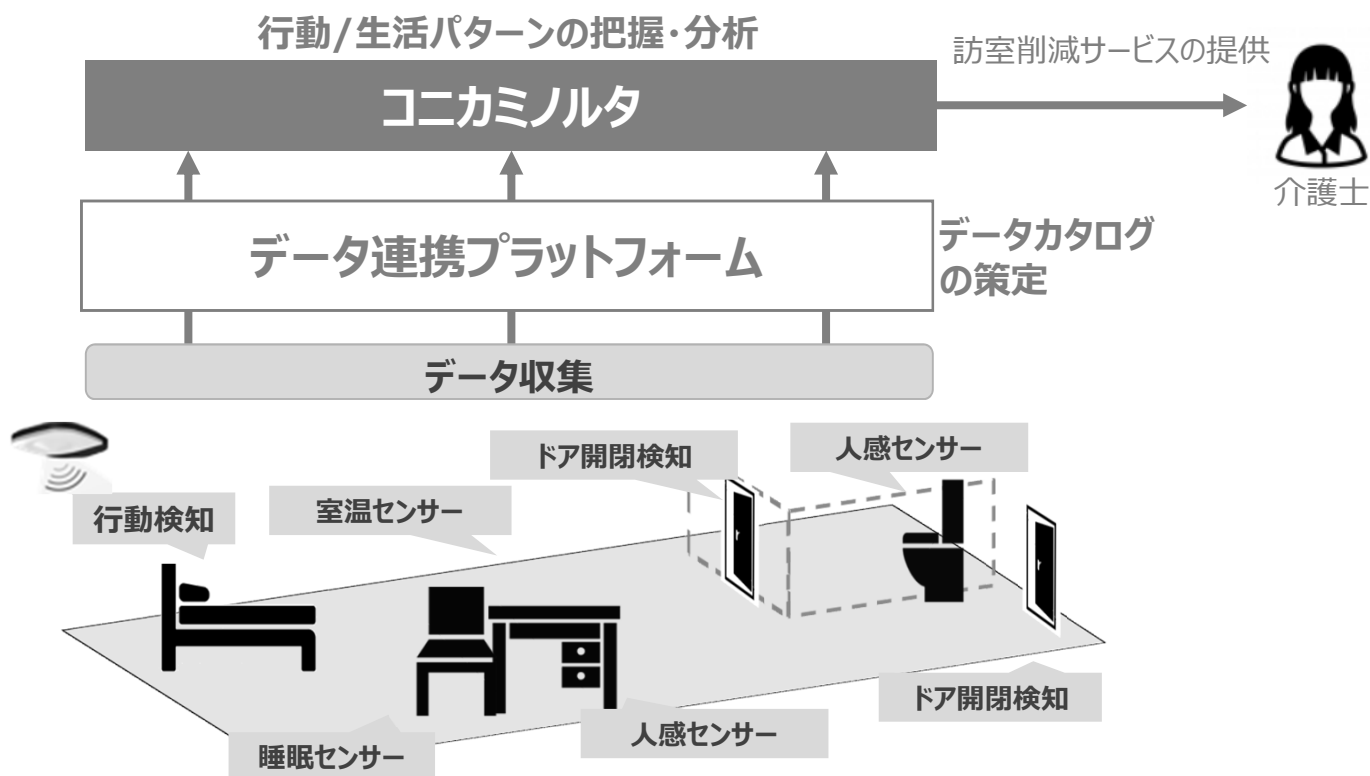
- ・ 利用者が継続的に取り組める健康増進サービスの創出
- ・ 介護負担の軽減・効率化



## 高齢者の行動特性をセンシング 行動特性の分析を通じて介護スタッフの業務効率化を推進

実施者名	コニカミノルタ株式会社
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>介護施設の高齢者居室にセンシング機器を設置し、高齢者の行動特性を把握。行動特性の把握を通じて社会課題である「介護スタッフの業務効率化」につながる訪室削減サービスなどの新サービスを開発する。</li><li>将来的には在宅分野への展開を狙い、超高齢社会におけるスマートライフ市場の醸成に貢献する。</li></ul>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>今まで感覚知化していた高齢者の行動特性の可視化</li><li>データ分析に基づいた介護業務の推進</li></ul>

(事業イメージ)



## ライフデータを活用した会話ロボットによる 生活支援の研究開発

～ライフデータの利活用による、生活・健康支援サービスの効果向上に向けて～  
**本体やデータ連携PFから入手した多岐に亘るライフデータを用い  
高齢者の生活・健康を支援するサービスの研究開発**

実施者名	シャープ株式会社
概要	生活の中で取得される多岐に亘るライフデータを会話ロボット本体やデータ連携PFから入手し用いることで、会話ロボットによる効果的な生活・健康支援サービスの研究開発を行います。今回の研究開発では、効果を高めるために、行動促進の働きかけを行う適切なタイミング、効果的なシナリオを研究開発致します。また、離れて暮らす家族へは、高齢者の様子をより細やかに伝える見守りサービスの研究開発を行います。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者に関わるデータを音声による促しや一元管理されたプラットフォームから入手することで、入力の手間や入力忘れなく、多岐に亘るデータを継続的に取得するための検討。</li><li>・利用者自らの能動的な会話や生活行為に頼るのではなく、会話ロボットからの音声による適切な促しにより、利用者の生活を支援する検討。</li><li>・効果的なシナリオを研究開発することで、利用者の行動を促進する検討。</li></ul>

### 健康増進アドバイス サービス



対話から取得した食事データ、データ連携PFから取得した健康データを活用した、活動促進・健康増進・食事アドバイスサービス

### 認知トレーニング サービス



過去の行動データを利用し、会話ロボットと一緒に記憶を呼び起こし促す認知トレーニングサービス

### 見守り サービス



各種センサのデータ、及びロボットと会話する声の状態から状況を把握し、遠隔地の家族へ状況を通知する見守りサービス

## ■サービスの概要

本体やデータ連携PFから入手した多岐に亘るライフデータを活用し  
生活・健康支援サービスの効果向上を目指す

### 健康増進アドバイス サービス

・利用者の体重・体脂肪率、歩数等の記録数が増えることや、食事から得たエネルギー・栄養素などが適正値により近づくことを検証

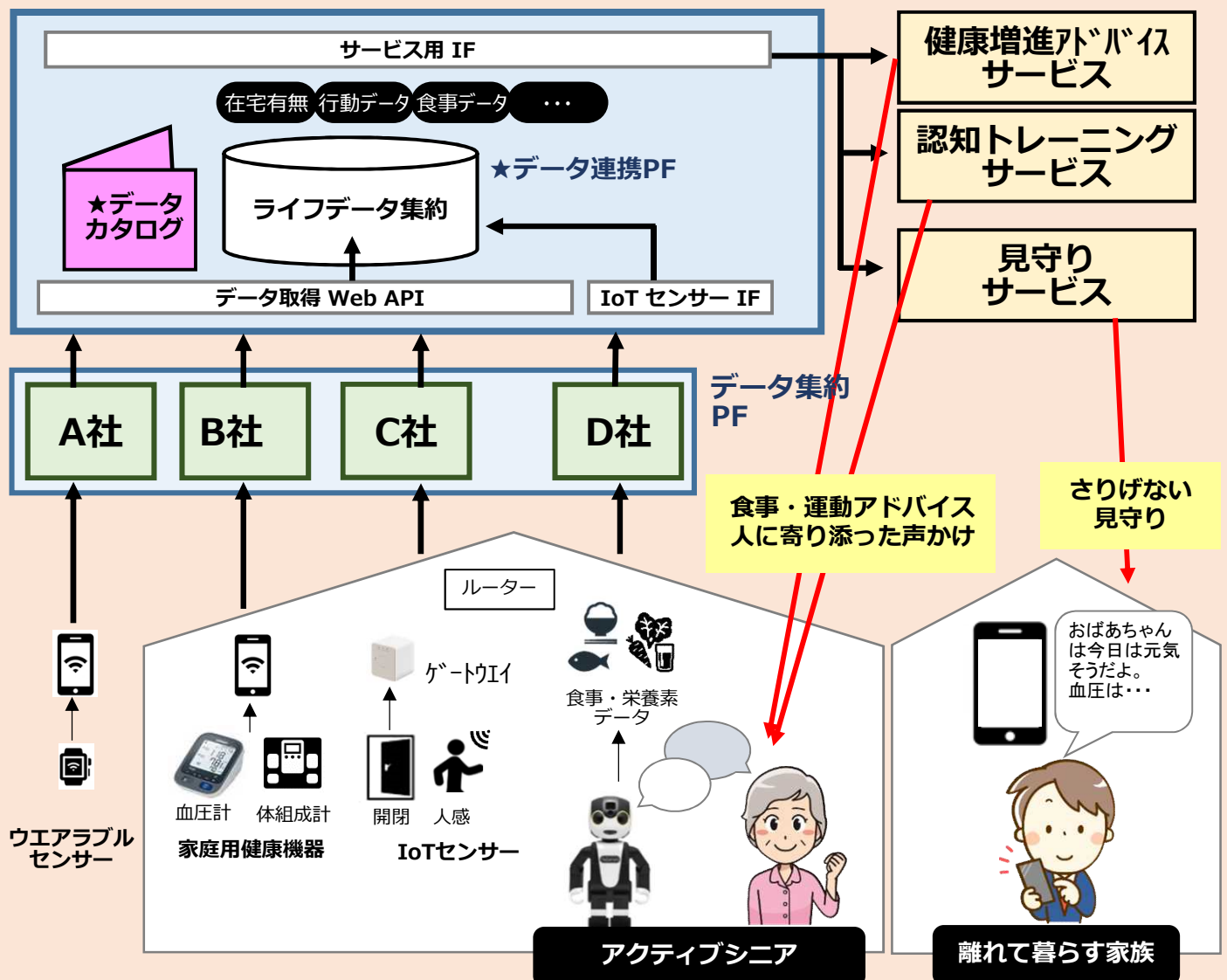
### 認知トレーニング サービス

・利用者のトレーニング利用頻度が増えることを検証

### 見守り サービス

・遠隔地の家族の安心度が上がること（アンケートより取得）を検証

(各サービスのイメージ図)



IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業/  
研究開発項目⑥IoT技術を活用したライフデータの高度利用システムの開発  
ライフデータを活用した健康相談サービスの研究開発

～IoTを活用してアクティブシニアの健康促進を目指す～  
**確度の高い健康相談サービスを実現するために  
相談履歴やライフデータを活用する仕組みを研究開発**

実施者名	セコム株式会社
概要	電話での健康相談サービスにおいて、有効かつ確度の高い健康相談を実現するため、利用者の相談履歴が参照可能な利用者データベースの構築、およびその情報の提示方法と、健康相談の対応時、利用者からの口頭申告といった主観的な情報に加えて、家庭内にある機器やIoTセンサからのライフデータをプラットフォームに集約し、客観的な情報として活用する方法について研究開発を行います。
ポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・受電時に電話番号から自動的に利用者を特定し、この利用者の対応に有効な情報を過去の相談履歴をもとに生成する方法の検討</li><li>・確度の高い健康相談サービスを実現するために有効となるライフデータの種類や、有効活用のための対応者向けの表示方法の検討</li></ul>

(事業イメージ)



# ■サービスの概要

ご利用者の電話番号と利用者情報の紐づけ、IoTセンサなどからのライフデータを活用し、確度の高い健康相談サービスを目指す

**電話番号と利用者情報の紐づけ**  
電話番号と利用者情報を紐づけることで、健康相談受電時、自動的に顧客情報を自動表示させ、履歴の参照を可能にする

**ライフデータの活用**  
IoTセンサなどからのライフデータを活用することで、利用者申告以外の客観的な情報を確認できるようにする

